

記載例（活動状況）

〇〇年度 事業報告書

日付	事業内容	会場	備考
4/13	連合会総会に参加	〇〇センター	運営会議
4/16	デイサービス補助	デイサービス〇〇	
4/19	ボランティア体験募集活動		
4/28	定例会	〇〇会館	団体の運営会議 (以下、定例会については同様)
5/9	ボランティア体験会①開催		
5/15	デイサービス		
5/25	定例会	〇〇会館	
6/7	ボランティア体験会②開催		中止
6/15	デイサービス補助		中止
6/27	定例会		中止
7/15	デイサービス	〇〇センター	
7/22	ボランティア夏祭り	〇〇公園	〇〇により中止
7/27	定例会	〇〇会館	
9/2	研修会に参加	ボランティアセンター〇〇	
		〇〇センター	
		〇〇会館	会員同士の交流を深める親交会
9/27	定例会		
～中略～			
活動回数： 計〇回			
8月は〇〇のため活動がなかった。			

「定例会」等、活動内容が分からない記載の場合は内容が分かるようにする。
なお、この場合は活動回数に含めない（参考③）。

中止した活動がある場合、予定していた活動の内容及び中止の理由が分かるようにする（参考②③の判断のため）。

活動回数のまとめがあるとよい（特に活動が多岐にわたり、活動回数も多いような場合）（参考①の判断のため）。

団体において活動していない月がある場合は、その理由を記載する（参考②の判断のため）。

備考（活動実績）

参考①〔ボランティア活動功労者表彰要領より抜粋〕

2 表彰候補者の選定基準

表彰を受ける候補者は、前記1に掲げるものであって、次に該当するものとする。

(1) 活動期間

原則として、過去10年以上にわたり率先してボランティア活動を行っているもの

(2) 活動回数

原則として、個人にあつては年12回以上、団体にあつては月1回以上のボランティア活動を行っているもの

参考②〔ボランティア活動功労者表彰 Q&A「IV 活動回数について」より抜粋〕

Q1. 団体のボランティア活動において、ボランティア活動を行っていない月があるが、年間12回以上活動を行っている場合は、表彰基準を満たしていると言えるか。

A1. 月1回以上ボランティア活動を行っていない場合は、原則として、表彰基準を満たしません。ただし、ボランティア活動の内容、状況等から、ボランティア活動を行っていない月があることについて、やむを得ないと判断できる場合は、活動回数の表彰基準を満たしているとみなされる場合があります。

参考③〔ボランティア活動功労者表彰 Q&A「IV 活動回数について」より抜粋〕

Q3. ボランティア団体の会員相互の勉強会・交流会・研修会は団体の活動回数に含めることができるか。表彰基準を満たしていると言えるか。

A3. 会員相互の勉強会・交流会・研修会・打合せ会は、自己の技術等の向上や団体運営に関する活動として直接的なボランティア活動に当たらないとみなされるため、活動回数には含めません。